



最新・最強の設備で本格焼酎を全国へ

濱田酒造株式会社

代表取締役社長 濱田 雄一郎

私共濱田酒造株式会社は創業明治元年、以来焼酎一筋に今日まで至っております。今年の5月、それまで操業して参りました日置郡市来町の工場が区画整理のため手狭になり、串木野市西薩中核工業団地「シーフロント」に新工場を建設、まさに20世紀最後のこの年に、第二の創業とも言える時代を迎える事になりました。

新工場ではまず、原料受け入れから出荷までのフルオートメーション化を実現したいと考え、新しい様々な設備の導入を試み、県内の焼酎メーカーでは珍しい機器も揃えました。

例えば、従来のエアシューターやベルトコンベアを使った原料等の移送も、ラップコンベアと言われる筒状に変化する新しいベルトコンベアを導入し、原料への異物混入や温度変化の防止を図り、安定した条件下での仕込を実現しました。

また、蒸留までの生産管理は全てコンピュータによる一括管理を実現し品質の安定と、昼夜を問わない連続的な生産活動が可能となっております。さらに、在庫商品、出荷商品の管理も自動化され、

1200パレット（1.8リットル瓶換算約20万本分）に及ぶ商品が収納可能で、更にボタン一つで数十秒以内に取り出せる自動倉庫なども配備しました。まさに最新・最強の設備と自負できる設備でスタートが切れたと思っております。

しかし、設備を上回る生産技術の向上が無ければ、せっかくの新工場の機能も生かせないところです。そこで工業技術センターとの関わりが重要になってくると思います。これまでも弊社は、焼酎製造における品質管理や新製品開発に伴う技術指導・相談や人材育成の研修など様々な活動でご支援いただきました。

今後とも、更なる品質向上・製品開発に意欲的に取り組んで、全国に通用する本格焼酎造りを進めたいと考えています。私共の社訓は「自立自興の企業をめざし且つ心を高める場たらんとす」です。自らの力量を高め、技術的にも精神的にも成長したいと思っております。その為にも、工業技術センターとの連携強化はこれからも重要な要素の一つとなって来るものと期待しております。



新工場全景（串木野市シーフロント）